

交通バリアフリーを実現し、安心して移動できる社会を目指して

交通環境部 消費者行政・情報課

九州運輸局では、高齢者・障害者等の公共交通機関を利用した移動の利便性・安全性の向上を促進するため、バリアフリー新法（平成18年6月公布、同年12月施行）等に基づき、管内の交通事業者に対して、旅客施設・車両等のハード面整備に係る支援措置を行っています。支援概要は以下のとおりです。

交通事業者に対する支援制度

・交通施設バリアフリー化設備整備費補助金制度（鉄道部計画課）

高齢者や障害者等が鉄道や軌道を安全かつ円滑に利用できるよう、鉄軌道事業者が実施する駅におけるバリアフリー化設備の整備に対し、国と地方公共団体が協調して補助を行っています。

（1）補助対象事業

駅のバリアフリー化設備の整備事業（エレベーター、エスカレーター、誘導・警告ブロック、障害者対応型トイレ等の整備）

（2）補助実績（九州運輸局管内）

平成18年度実績：107,820千円

JR九州（周船寺駅、篠栗駅、別府駅、宮崎駅）

・公共交通移動円滑化設備整備費補助制度（自動車交通部旅客第一課、鉄道部計画課）

高齢者、障害者等の移動制約者の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性に寄与するための以下のバリアフリー化事業に対し、国と地方公共団体が協調して補助を行っています。

（1）補助対象施設（設備）

- a．ノンステップバスの導入
- b．鉄道駅周辺のバスタ - ミナルのバリアフリー化
- c．鉄軌道とバス相互の共通乗車カードシステムの整備等

（2）補助実績（九州運輸局管内）

平成18年度実績：17,220千円

西日本鉄道(株)、佐世保市交通局、長崎自動車(株)、熊本市交通局

ノンステップバス導入（大型6台、中型7台）

・ **LRTシステム整備費補助制度**（鉄道部計画課）

低床式路面電車車両の活用等を通じて、従来の路面電車と比較してバリアフリー化が図られ、都市との一体性にも配慮した人にも環境にも優しい高機能路面電車システムの構築を促進するため、低床式車両の導入等の整備費用に国と地方公共団体が協調して補助を行っています。

（１）補助対象施設（設備）

低床式車両の導入等

（２）補助実績（九州運輸局管内）

平成18年度実績：152,600千円

鹿児島市交通局

・ **離島航路船舶バリアフリー化船建造費補助金**（海事振興部旅客課）

離島では、本土と比べ高齢化率が高く、バリアフリー化が強く求められていることから、高齢者、障害者等の移動の利便性及び安全性の向上を図るための離島航路に就航する船舶のバリアフリー化を行う国庫補助航路事業者に対し、船舶の建造及び改造工事にかかる費用の一部の補助を行っています。

（１）補助対象施設

国庫補助対象航路で使用する船舶のバリアフリーを図るために代替建造及び改造工事を行う事業

【問い合わせ先】

九州運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課 担当；峯・関

：092-472-2333

九州運輸局 鉄道部 計画課 担当；犬塚・江隈

：092-472-4051

九州運輸局 自動車交通部 旅客第一課 担当；桑島・増田

：092-472-2521

九州運輸局 海事振興部 旅客課 担当；薄墨

：092-472-3155